

上尾市子ども・子育て支援事業計画及び
子どもの貧困対策計画進捗状況に関する質問
(令和6年度進捗状況)

基本目標 1 就学前の親子への支援の充実

中柱	小柱	通し 番号	主な取組・事業	所属名	内容及び方向性	令和6年度目標	令和6年度実績、取組内容、課題	進捗評価	取組評価	質問	回答
づ1く親子に子向けの健康支援	(6)妊婦・女性の健康支援		(項目追加の提案) プレコンセプションケアの講座の実施	こども家庭保健課						プレコンセプションケアの講座を実施すること、項目として入れることができるのか。	第2期子ども・子育て支援事業計画は、令和2～6年度を計画期間としています。プレコンセプションケアに関する事業は、令和7年度からスタートしている上尾市こども計画に基づき実施しております。今後も講座の実施や葉酸サブリの配布などの事業を進めていきます。
3地域における子育て支援の充実	(2)子育て相談・情報提供の充実	47	子育てガイドブックの発行	こども支援課	子育てに関する様々な情報を掲載した「子育てガイドブック」を作成し、子育て家庭及びこれから子育てをする人への情報源として活用します。関係各課と連携して利便性の高い子育てガイドブックを作成、発行します。	令和7年度版の発行時期を、令和6年度より早める。	令和4年7月に発行していたガイドブックを、令和5年度は6月、令和6年度は5月に発行することができました。しかしながら、協働発行先との調整がつかず、令和7年度以降はこれ以上早めることが困難となっているため、5月発行に向けて校正作業を進めています。	B	B	5月発行にむけて、がんばったという記述があります。制度改革がある中で、読みやすさを含めた全体構成の見直しが必要になりやすい中で、早く発行ということですが、早く発行する必要がありますが、どのようにあるのですか。	早く発行する理由として、年度初めは生活状況が変わることで子育て情報が必要になったり、新たな事業や施設が開始・開所になる場合が多いため、4月から期間を置かず発行し速やかに最新の情報を届けたいという意図があります。
		48	インターネットによる情報提供の充実	こども支援課	インターネット等を利用した子育てに関する情報の収集、提供を進め、子育てで中及びこれから子育てをする人のニーズに対応します。インターネット技術を最大限に活用し、子育て情報の収集、提供、メール等による子育て相談について検討していきます。	定期的な庁内照会を継続し、常に最新の情報が提供できるように随時の更新も可能であることを庁内に周知する。	子ども・子育てに関する各種制度・取組等を全庁的に集約した「子ども・子育て応援ページ」の内容を四半期ごとに見直し・更新作業を実施しました。各所属からの申し出をもとにしているため、常に最新情報を掲載することには課題が残ります。	B	B	グラン育自の催しも、これに載せてもらえないだろうか。	現在「子ども・子育て応援ページ」は、主に市が実施する事業について、全庁的に集約して発信しているところです。民間の取組等についても、掲載基準や更新権限等の課題について検討していきます。

基本目標 2 子どもの笑顔を育む環境づくり

中柱	小柱	通し 番号	主な取組・事業	所属名	内容及び方向性	令和6年度目標	令和6年度実績、取組内容、課題	進捗評価	取組評価	質問	回答
1子どもの心身の健康づくり	(2)小・中学校での食育の推進	62	米飯給食の充実	学校保健課	食事内容の多様化を図り、栄養に配慮した米飯の正しい食習慣を身につける見地から教育上有意義と考えられています。米飯を中心とした日本型食生活や食文化を伝承するよい機会ととらえています。継続して実施します。	使用回数を増やす。	11月には市内全小・中学校で上尾市産の精白米を使用しました。 (市内生産者・学校給食会から購入) 【計画回数】 小学校：4回 中学校：19回	A	B	米価の高騰、備蓄米の流通等の状況の変化が生じているが、本事業への影響はあるか。	米価については、昨年度から急激に上昇しているところですが、米の納入については、(公財)埼玉県学校給食会を通じて安定供給を図っており、米飯給食については、計画通り実施できているところです。米価の高騰に対しても、公費で対応してきており、現状は給食費を維持しています。

基本目標 4 子育てを応援する環境づくり

中柱	小柱	通し 番号	主な取組・事業	所属名	内容及び方向性	令和6年度目標	令和6年度実績、取組内容、課題	進捗評価	取組評価	質問	回答
1仕事と子育ての調和の推進	(4)就労支援と再就職のための支援	143	就労支援と再就職のための情報提供	商工課	若者の就業意識を醸成し、適切な職業選択や就労を促進するために、就業体験を行うインターンシップや、就職面接会を持続的に実施します。また、地域住民の就労を促進するために、職業相談や職業紹介、職業訓練等の情報提供を実施します。	就職者の増加	上尾・桶川・伊奈地域雇用対策協議会の事業①、② ①インターンシップ事業 実施企業数：23社、参加者数：32人 ②就職面接会事業 参加企業数：41社、参加者数：37人、採否結果：7人内定 ③個別就職相談 隔週水曜日（祝日、年末年始を除く）10:00～16:00実施 事前予約制 相談者数：42人 就職セミナー④、⑤、⑥ ④就活の進め方講座 参加者数：3人 ⑤履歴書・職務経歴書の書き方講座 参加者数：12人 ⑥「上尾市の自殺対策」、「ストレスへの取り組みと対処法」参加者数：9人 ⑦内職相談 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）8:30～17:15実施 来所者：103人、 紹介件数：209件、就職者数：13件 ⑧上尾ふるさとハローワーク 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）10:00～17:00実施 就職件数：747件	A	B	マザーズハローワークの出張相談を、つどいの広場あそぼうよで、毎月1回、実施している。そのことは、ここに掲載されてもいいのではないかと。商工課のHPにも掲載しています。	(商工課) ご指摘の事業は、事業を実施しているマザーズハローワーク大宮より周知協力の依頼があり、市広報・HPにて掲載し周知を図っているところです。商工課が関与する事業ではないため、ここで実績として記載することは適当でないと考えております。 (こども支援課) ご指摘の事業は、こども支援課が所管する地域子育て支援拠点での取組であるため、通し番号131「就労に関する情報提供」のなかで以下の通り実績を掲載させていただきます。
		131	就労に関する情報提供	こども支援課	県などが実施する資格取得のための受験対策講座に関する情報提供や、ふるさとハローワークと連携して就労を希望する人の支援などを行います。	引き続き児童扶養手当の現況届時にひとり親家庭へ相談場所の周知に努めます。	令和6年度にふるさとハローワークと連携を希望した人は4名です。今後も窓口等で支援内容の周知を図っていきます。 また、つどいの広場あそぼうよ（地域子育て支援拠点）ではマザーズハローワーク大宮と連携し、出張相談会を開催しました。令和6年度は6回開催し、21名が参加しました。	A	A		

教育の支援指標

No.	指 標	現状 (作成時点)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和6年度)	主な事業名	実施内容	評価理由・課題	担 当	質問	回答
1	幼・保・小連絡協議会の開催校数【内容の充実】	22校 (令和3年度)	22校	22校	22校	22校	幼・保・小連携合同研修会の推進	市内の幼稚園、保育所(園)、小学校等の職員で幼・保・小連携合同研修会を実施し、互いの取組について学ぶ機会を設け、幼・保・小連携の推進に取り組みます。合同研修会での研修内容を生かし、幼・保・小連絡協議会の内容充実を図ります。	市内の幼稚園、保育所(園)、小学校等の職員で幼・保・小連携合同研修会を年2回実施し、互いの取組について学ぶ機会を設け、幼・保・小連携の推進に取り組むことができました。今後の方向性としては、合同研修会での研修内容を生かし、幼・保・小連絡協議会の内容充実を図っていきます。	指導課	22校全部で開催できている中で、内容の充実となっている。 連携合同研修会を年2回実施とあります。どのような内容の研修を実施しているでしょうか。	研修の主な内容は以下のとおりです。 ・各施設(幼稚園、保育園、小学校)の実践事例の発表 ・架け橋期カリキュラムの共有 ・円滑な接続や連携強化に向けた取組についての研究・討議

生活の支援指標

No.	指 標	現状 (作成時点)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和6年度)	主な事業名	実施内容	評価理由・課題	担 当	質問	回答
8	若者相談における若者本人が相談した割合	50.8% (令和2年度)	49.5%	35.1%	59.4%	64%	子ども・若者相談事業	主に15歳から39歳までを対象とした子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行います。	上尾市子ども・若者支援地域協議会のネットワーク内の支援体制の強化を行いつつ、ひきこもりなど困難を抱える子ども若者の相談に対応しました。 新規相談者数: 43人(うち本人の相談者数: 28人) 継続相談者数: 26人(うち本人の相談者数: 13人) 本人からの相談率 59.4%	子ども家庭保健課	目標値には届いていないものの、数値は向上している。若者本人が相談できるようにどのような支援を行ったか。また、目標達成に向けた課題は何か。	令和6年度は、ヤングケアラーに関するアンケート調査を実施し、そのうち相談希望があった生徒等と面接相談を実施しました。そのため数値が上がったものと認識しております。課題としては、気軽に相談できる窓口のひとつとして若者とその家族へ認知度を高めることです。
9	子ども食堂の数【新規】	8 (令和3年度)	8 (うち1か所休止中)	8 (うち1か所休止中)	10 (うち1か所休止中)	10	子どもの居場所づくり応援事業	学校や家庭以外での子どもの居場所を増やすための取り組みを推進します。また、子どもの居場所づくりに取り組む団体を支援します。	こども食堂及びフードパントリー実施団体等を支援する目的で、こどもの居場所づくり応援事業を実施しました。交付申請のあった11団体に対し、補助金を交付することで支援を行いました。令和7年度についても、こどもの居場所づくりに取り組む団体への支援を継続して行っています。	こども支援課	交付申請のあった11団体に対し、補助金を交付することで支援を行いました。とありますが、この中に、私も彩の子ネットで実施している、子ども服交歓会事業も含まれていますか。	補助金を交付した11団体には、彩の子ネットワークの「子ども服交歓会」の活動も含まれております。

経済的支援指標

No.	指 標	現状 (作成時点)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和6年度)	主な事業名	実施内容	評価理由・課題	担 当	質問	回答
16	生活保護世帯の中学3年生の学習支援事業利用率	43% (令和2年度)	70%	36%	47%	60%	ひとり親家庭・生活困窮者等学習支援事業	生活保護世帯・生活困窮世帯・ひとり親家庭の該当学年の児童生徒に対して学習支援、訪問支援を実施します。	生活保護世帯・生活困窮世帯の該当学年の児童生徒に対し、学習支援教室を開催しました。対象児童が毎年入れ替わるため参加率の変動が大きいです。が、参加のない児童生徒に対しても、家庭訪問や電話等の方法により学習や進路、生活についての相談支援を行を行いました。令和7年度も同様に事業を実施し、学力の向上や生活習慣の確立、社会的な居場所の確保に向けた支援を行います。	生活支援課	参加率の変動が大きくなる事情は理解するが、目標値に届いていない現状の課題認識や今後の改善策について具体的に伺いたい。	令和6年度は、参加していない10人のうち、教室で学習することが困難な対象者が複数おりました。その他不参加の理由としては、保護者ないし生徒が進学に対して積極的な姿勢をもっていない(必要性を感じない)と考えている事例がありました。 コミュニケーションが苦手な世帯もあるため、家庭訪問や電話相談による相談支援を途絶えることなく引き続き行い、社会との関係づくりや居場所の確保に努めていきます。また、少しでも学習に興味を持ってもらえるよう、身近な題材をテーマにしたイベントの開催や、夏休み・冬休みの宿題サポート等を行う特別教室を今後も実施していきます。